

■ グループホームしんあい(令和2年度事業報告)

令和2年度経営方針

障害者総合支援法に規定する共同生活援助事業として、8 ホーム、定員 42 名で障がいを持つ方が住み慣れた地域において、家庭的な雰囲気の中で共同し、自立した生活を営むための支援を行う。

また、近年利用者が高齢化、重度化している。平均年齢が 54.5 歳、65 歳以上の方が 11 名利用しており、現在のハードでは対応できなくなっている。そのため、それらに対応した施設整備を計画的に行う。

令和2年度取り組み

1 利用者支援

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>◆ 利用者のニーズに沿った個別支援計画の作成と実施</p> <p>① アセスメント、計画作成、モニタリングを画一的になることなく適切に実施する。</p> <p>② 昨年度、GSV(グループスーパービジョン)を定期的に行ったことで、アセスメントの重要性が理解できた。そのため、今年度はアセスメントを丁寧に行う。具体的には、フェイスシートを見直し、改めて本人をより知ることによって個別支援計画へ反映できるようにする。</p> <p>③ 記録システムの見直しを各事業所と連携をして進める。</p>	<p>① サービス等利用計画のモニタリング時期と個別支援計画のモニタリング時期を合わせることで、画一的にならない取り組みが実施できるようになった。</p> <p>②③各事業所と連携しながら、グループホームが先行して記録システムの見直しを図ることができ、1月から使用を開始した。その中で、本人の成育歴等を記録できる機能があるため、来年度にかけて作成する予定としている。</p>
<p>◆ 虐待防止、権利擁護に努め、利用者に寄り添った意思決定支援を行う</p> <p>① 虐待防止、権利擁護に関する外部研修への参加や内部研修を実施する。</p> <p>② 利用者を対象とした虐待防止、権利擁護研修を実施する。</p>	<p>① 虐待防止・権利擁護の内部研修として2回実施した。</p> <p>② 虐待防止委員が各ホームで研修会を実施した。反応はそれぞれであったが、来年度以降も継続して行っていきたい。</p>
<p>◆ 余暇支援の充実</p> <p>① ケース担当、サービス管理責任者による余暇支援に関するニーズを把握する。</p> <p>② ニーズ調査・整理を行い、個別の余暇支援や集団で行う余暇支援を計画的に設定する。</p> <p>③ 移動支援事業所との連絡調整を行う。</p>	<p>① アセスメント、モニタリングや日常支援を通して把握を行った。</p> <p>② 新型コロナウイルスの影響で集団での余暇支援を行うことが難しかったが、各ホームで少人数や個別で工夫をして行うことはできた。</p> <p>③ 随時、事業所と連絡調整を行った。</p>

④ クラブ活動を充実し、作品展等の成果を発表する場を設ける。	④ 新型コロナウイルスの影響で、計画通りには実施できなかったが、できる範囲で活動は行った。作品展については、場を設けることはできなかったが、個別に外部の作品展等に応募をし、展示された会場に鑑賞に行くことはできた。
◆ 医療的支援の強化 訪問看護ステーションとの連携を図り、医療的ニーズに対応する体制づくりを図る。	訪問看護ステーションと連携契約を結び、各利用者の医療面のニーズに対応する体制ができた。

2 人材育成

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
◆ 外部研修への参加 ① 外部研修の内容を職員会議等で報告し、事業所全体の支援の質の向上を図る。 ② 強度行動障害研修に参加する。	① 外部研修に参加する機会は少なかったが、Webでの研修を職員会議時等に受講することで、全体で研修内容を共有することができた。 ② 当年度は参加を見送った。
◆ 内部研修の実施 ① 虐待防止、権利擁護研修を実施する。 ② GSV(グループスーパービジョン)を実施する。 ③ 視察研修を実施する。	① 2回実施。 ② 不定期に実施し、ストレングスの視点やアセスメントの重要性を学ぶことができた。 ③ 新型コロナウイルスの影響で、施設研修の受け入れ先の確保が困難なため、実施を見送った。
◆ 職員定着を図るために働きやすい職場環境を整える 職員事務所の整備、休憩室・更衣室の確保等の検討を行う。	新規ホームに職員事務所及び更衣室を併設する計画をした。

3 施設設備管理

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
◆ 高齢化・重度化に対応する新規ホームの整備 イニシャルコストが抑えられる建貸しの物件で整備をする。	当年度で整備することはできなかったが、建貸しの物件で令和3年9月に開所予定で計画することができた。2階建てバリアフリー、定員10名予定。
◆ 消防設備点検 ① 消防設備点検の業者への委託。昨年度、見積合わせの結果、点検業者を変更した。今年度も再度見積もり合わせを行い、業者を選定する。 ② 消防設備の自主点検を行う。	① 見積合わせの結果、エムケー防災株式会社と契約した。年間313,500円。9月に総合点検を実施、3月に機器点検を実施した。 ② 担当職員が随時行った。

<p>◆ 居住棟の環境整備 定期的に巡回を行い、清潔な環境の維持、設備、備品等の点検を行い、老朽化した箇所の修繕を適宜行う。</p>	<p>適宜行っている。</p>
---	-----------------

4 危機管理

<p>◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段</p>	<p>実績</p>
<p>◆ 防犯・防災対策</p> <p>① 消防計画を基に消火訓練、夜間想定避難訓練、通報訓練を実施する。</p> <p>② 夜間の防犯・防災対策として警備会社と契約し、緊急時に対応できる体制を整える。</p>	<p>① 9月23日と3月20日に実施した。</p> <p>② 夜勤職員が不在の5ホームについて、セコム株式会社と契約し、緊急時に対応する体制を整えた。</p>
<p>◆ 安全運転管理</p> <p>① 年式が古い車両について、計画的に更新を検討する。その際には、リース車両を検討する。</p> <p>② ドライブレコーダーの映像を定期的に確認し、事故報告書やひやりはっと報告の検証を行う。</p>	<p>① 当年度中に更新は見送ったので、次年度でリース車両への更新を検討したい。</p> <p>② 年間事故件数3件。事故の際には、ドライブレコーダーの映像を本人と確認し検証を行った。</p>

5 その他

<p>◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段</p>	<p>実績</p>
<p>◆ 地域における公益的な取り組みとしてホーム周辺の夜回り活動を行う 職員と利用者数名で各ホームの周辺地域の夜回り活動を行う。</p>	<p>年間6回行った。基本的に職員1名利用者2名程度で夜間ホーム周辺を歩いて実施することができた。</p>
<p>◆ 業務の効率化を図る 新規ホーム整備、定員増に伴い勤務体制の見直しを図る。</p>	<p>当年度で整備はできなかったため、次年度の新規ホーム開所に伴い見直しを図りたい。</p>
<p>◆ 外部に対してグループホームを理解してもらうための取り組みを行う 利用希望者向け、職員採用向けに分けてパンフレット及び紹介動画を作成する。</p>	<p>当年度で作成できなかったため、次年度、新規ホームの開所に併せて作成をしたい。</p>

■ グループホームしんあい(令和2年度事業報告 資料)

令和3年3月31日現在

1 利用者状況

(1)障害支援区分(名)

支援区分	全8ホーム		
	男	女	計
区分6	7	1	8
区分5	6	4	10
区分4	6	2	8
区分3	9	1	10
区分2	5	0	5
区分1	0	0	0
非該当	0	0	0
合計	33	8	41

(2)年齢構成(名)

区分 種別	性別	20歳未 満	20歳以 上～30 歳未満	30歳以 上～40 歳未満	40歳以 上～50 歳未満	50歳以 上～60 歳未満	60歳以 上	平均 (歳)
		全8ホーム	男	0	3	2	5	7
女	0		0	0	1	3	4	58.9
計	0		3	2	6	10	20	55.0

(3)日中活動・就労状況(名)

区分 ホーム	ワークス しんあい	親愛センタ 一通所部	親 愛 南の里	法人外事 業所	一般就労	その他	計
全ホーム	14	8	3	7	10	0	42 (重複して活動し ている方1名)

1 事業所状況

(1)各事業の実施状況

事業名	定員(名)	平均利用人数(名)	利用率(%)
共同生活援助	42	41.3	98.3